

建設業と飲食業を経営する傍ら、こども食堂を月2回、開いている白矢さん夫妻。始めたきっかけ、運営にかける思いを伺いました。

## 親子が笑顔になれる場所に

**公一さん** きっかけは妻の「やってみたい！」の一言です。元々カンボジアの子供たちへのボランティア活動を通じて知り合って結婚しましたので、妻の思いは十分理解できました。私からは市や保健所によく確認しておいたほうがいいよ、とアドバイスしたぐらいです。その日にいきなりフェイスブックに「こども食堂始めます！」と出していたのにはびっくりしましたけど(笑)



左が白矢恭子さん、右が白矢公一さん

HEROESこども食堂  
白矢 公一 さん  
(株)WILLHOUSE 代表取締役  
白矢 恭子 さん  
(レストラン「HEROES」オーナー)

**恭子さん** カンボジアの子供たちは決して豊かではない暮らしの中でも、目がキラキラ輝いていたんです。その時に日本の子供たちには触れ合いやコミュニケーションが必要なのではないかと思いました。私自身も仕事をしながら子育てで子供にさみしい思いをさせていたのではないかという思いがあったので、2018年からこども食堂を始められることにしました。元々カフェを始めていて飲食店営業の許可や調理師免許は持っていたので比較的スムーズに進めることができました。

**公一さん** 始めるにあたりSNSで告知したところ、スタッフの問い合わせがまず来ました。同じ思いを持った方がいるんだと嬉しくなりました。当店の立地上、子供たちだけで自転車で来るのは難しく、ほとんどが親御さんが車で連れてきて一緒に食事をとるという形で大人は500円頂いています。

**恭子さん** 親御さんには「さぼりにおいで」と言っています。毎日必死に働いて子育てして、一息つくことで子供にも優しくなれると思うんです。子供だけでなく親のサポートもしていきたいですね。

**公一さん** 食材は自費購入のほか、知り合いや社会福祉協議会からの寄付・提供で賄っています。市の助成もありますが、こういった皆さんのご厚意のもと成り立つ事業なので本当に有難いですね。もちろん妻の料理の腕とややく

り上手のおかげでもあります！  
**恭子さん** 贅沢なものを出せませんが、栄養バランスなどを考えてメニューを決めています。「野菜の煮物は普段食べないのここでは食べる」というお母さんの声を聞くと嬉しいですね。

**公一さん** コロナ禍でも休むことはしませんでした。誹謗もありましたが、こども食堂の存在意義を考えるとそんな時だからこそ続けなければいけないと夫婦で話し合いました。『令和の寺子屋、駆け込み寺』です。

**恭子さん** 家に籠るストレスは親も子も一緒、「受け入れに救われた」と言われて、やったことは間違っていないかったんだ、継続してよかったと思います。

最近では子供たちも調理や盛り付け、洗いのまで手伝ってくれるようになりました。初めの頃は笑顔なく構えていた子が「水の出しっぱなしはアカンで」と笑いながらお手伝いしているのを見るとこちらも笑顔になります。

**公一さん** 妻がこども食堂をはじめるときかけとなった「触れ合いとコミュニケーションを増やしたい」が実現できているように思います。今後も続けられる限り「笑顔と触れ合いが生まれる場」を提供していきたいですね。

HEROESこども食堂  
毎月、第2・4木曜日18時〜21時(予定)  
詳細はHEROES  
TEL 079-451-7636